

◆協議会20周年特集◆

日赤図書室協議会設立20周年によせて

加 藤 誠

日赤図書室協議会設立20周年おめでとうございます。平成6年に有志10名でスタートした協議会だそうですが、現在は65の病院が参加しております。また活動内容も、年1回の研修会の開催、「日赤図書館雑誌」の発行、会員病院間の文献相互利用、そして東日本大震災後、災害時の文献サポート等を行っており、確実に発展してきております。

さて平成16年4月より、新臨床研修制度が始まりましたが、現在赤十字病院は、92病院中65病院が基幹型臨床研修指定病院、59の病院が協力型臨床研修指定病院となっています。そして数多くの初期研修医の指導を行っているところです。初期研修医にとっては、大学を卒業し、初めて医師として患者さんに接し、診断、治療にあたるわけですが、その病院での経験が、その後の医師としての人生に大きく影響してきます。診断に、治療に困難を感じた患者さんとの出会いは、非常に重要です。そしてそのような難しい患者さんに会ったときに、新たな生きた勉強が始まります。その時に過去の文献検索や症例報告のまとめの方法等、研修医にとって図書室との付き合い方により、勉強の仕方が変わってきま

す。医師として成長する重要な時期に、文献検索、収集等みなさまにご協力していただき、より良い医師の育成に携わっていただきたいと思います。そして医師だけでなく、看護師、パラメディカルの方々もそれぞれ学会、研究会があり、各病院での発表が増えてきております。それだけ医師以外の人の図書室の利用も増えてきており、その病院の医療の質の向上に、図書室は非常に多くの役割を担っており、今後もますます図書室の重要性が高まってまいります。今後ともみなさまのさらなる向上を期待しております。



加藤先生を中心に

KATO Makoto

日赤図書室協議会会長

成田赤十字病院院長